

情報システムの調達に関するセミナー

2025
11 / 10 月
14:00-16:00

経済調査会では、情報システムの調達に関する実務に役立つセミナーを継続的に開催しております。

このたび、情報システムの調達におけるプロジェクトマネジメントをテーマに、2つの講演を企画いたしました。

本セミナーでは、プロジェクトの現場で直面する課題や意思決定のポイントを、事例を通じてわかりやすく解説いたします。情報システムの導入・運用に携わる皆様にとって、日々の業務に活かせるヒントが得られる内容となっております。ぜひこの機会にご参加ください。

講演テーマ

01

14:00-15:00

「なぜ、今アジャイルなのか」

～ アジャイルの本質と実践事例 ～

鈴木 康一郎 氏 株式会社MSOL Digital



02

15:00-16:00

「本当に使える見積もり技術」

～ WBSで見積もり起因のトラブルを防ぐ ～

初田 賢司 氏 青山学院大学 社会情報学研究科 プロジェクト教授



講演詳細は次ページをご覧ください

参加費無料

どなたでもご参加
いただけます

オンライン開催

TEAMS開催
講師への質疑も可能

要事前登録



申込締切：11月6日（木）

お問合せ

経済調査会
software@zai-keicho.or.jp

情報システムの調達に関するセミナー

講演テーマ

01

14:00-15:00

「なぜ、今アジャイルなのか」
～ アジャイルの本質と実践事例 ～

株式会社MSOL Digital

鈴木 康一郎 氏



「アジャイルでは、マネジメントは不要ではないか」という声を耳にすることがある。たしかに、アジャイルは自律性を尊重する働き方であり、チーム主導の判断や試行錯誤を重視する。しかし、マネジメント不在のままアジャイルを導入した結果、現場の方向性が曖昧になり、進捗や成果の実感を得られないケースが少なくない。アジャイルとマネジメントは対立概念ではない。むしろ、アジャイルにおいてこそマネジメントの本質が問われている。

本セミナーでは、参加者がアジャイルを自身の業務や組織にどう活かせるかを考えるきっかけを提供すべく、アジャイルの本質を解説し、実践事例を紹介する。

02

15:00-16:00

「本当に使える見積もり技術」
～ WBSで見積もり起因のトラブルを防ぐ ～

青山学院大学 社会情報学研究科 プロジェクト教授

初田 賢司 氏



ITプロジェクトの成否の大半は見積もりで決まると言っても過言ではない。見積もりにミスがあると、プロジェクトはたちまち混乱する。しかしながら、現場では属人的で根拠に乏しい見積もりが氾濫している。こうした状況を改善する鍵となるのが、作業工数やコスト、所要期間の見積もりとともに実施するスコープ(範囲)定義である。スコープは、WBS(Work Breakdown Structure)を用いて「何を」「どこまで」やるかを定義する。

本セミナーでは、ITプロジェクトの見積もりの難しさを踏まえて、見積もり作業の流れやWBSを中心としたスコープマネジメントの重要性などを解説する。

受講のお申込み

- ・ 専用の登録フォームでお申し込みください。登録フォームへは software-plaza.com のトップページから「講習会」にアクセスして下さい。
- ・ お申込み受付後にミーティング情報を記載した[申込受付メール]をお送りいたします。定員を超えた場合にはその旨のご連絡をいたします。申し込み後3営業日以内に連絡がない場合は担当部署までお問い合わせ下さい。
- ・ セミナー参加用の受講者番号は、11月7日(金)にご登録いただいたメールアドレスあてにご案内します。

ご受講にあたって

- ・ セミナーはTeamsを使用します。アプリからではなくPCのブラウザからご参加ください。スマートフォンやタブレットでの参加も可能ですが、PCでの接続を前提に進行する点をご了承ください。
- ・ 専用テキスト(無料)はセミナー終了後に提供可能な部分のみWebサイトで配布いたします。
- ・ 音声・画像の設定は主催者の指示に従って参加下さい。
- ・ 受講証明書をご希望の場合はセミナー終了後にメールでお送りいたします。